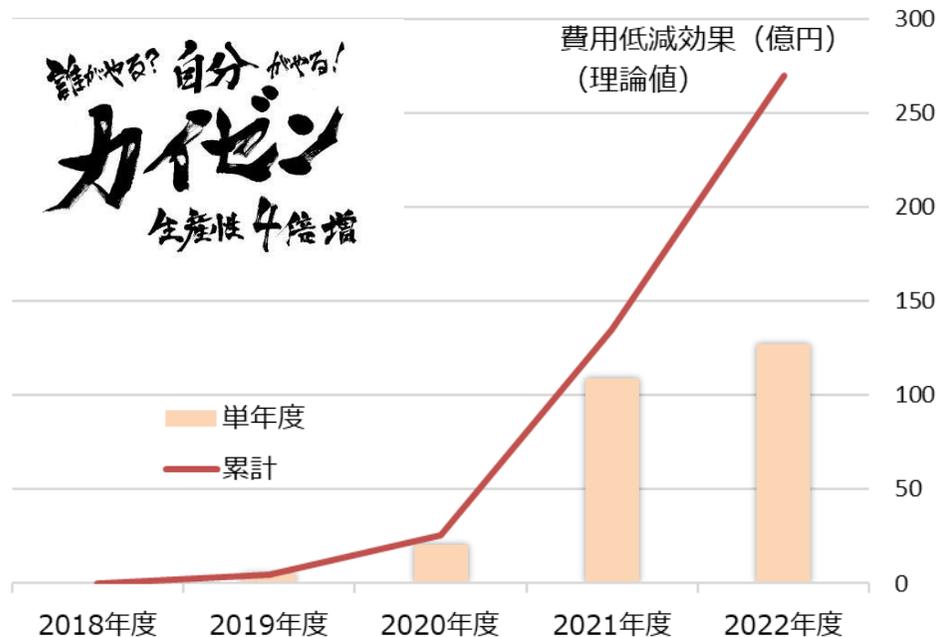


抜本的な効率化・費用低減

- あらゆる業務について、不断の見直しにより抜本的な効率化・費用低減を実現します。
- 高い効果が期待できる大型カイゼンプロジェクトの確実な推進や、グループ会社へのさらなる展開などカイゼン活動を強力に推進し、生産性4倍増を目標に、具体的な成果を積み上げていきます。

カイゼンの浸透・拡大

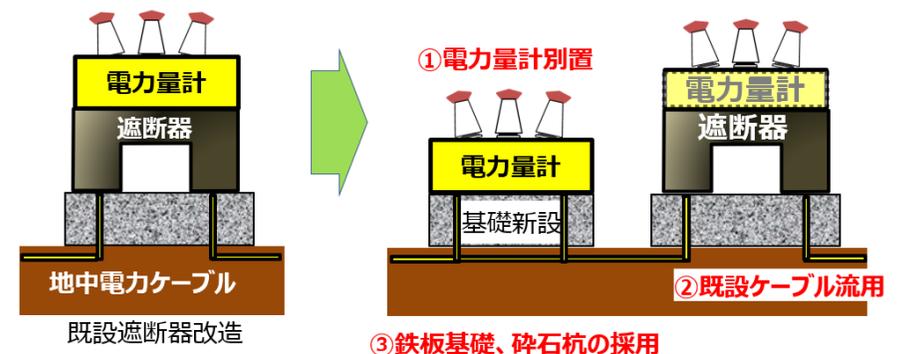
- “生産性4倍増”を目指す取り組みが社内に浸透するとともに、プロジェクト数が増加しています。
- 現在までに、グループ全体で2,900件以上のプロジェクトを展開し、着実に費用低減効果を積み上げています。



※ 北海道電力および北海道電力ネットワークにおける取り組み効果の合算値

砂川発電所 取引用電力量計調達カイゼン (事例)

- 砂川発電所は2027年3月末に廃止を予定していることを踏まえ、カイゼンの手法を用いて、簡易な設備とすることで**総工費12.6億円を3.2億円 (▲9.4億円) に削減**しました。
 - 通常、遮断器を改造し電力量計を設置するところ、安価な汎用品の電力量計を別置きで設置
 - 既設ケーブルの劣化状態を測定し、健全性を確認したうえでケーブルを流用
 - 新設電力量計の基礎の仕様を見直し (鉄板基礎、碎石杭の採用)



抜本的な効率化・費用低減

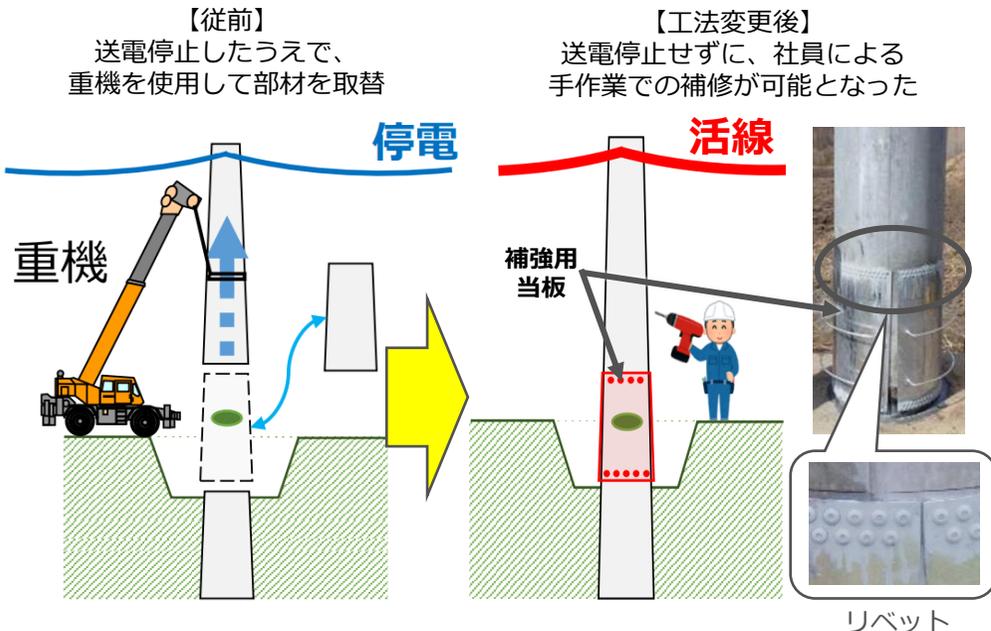
- 北海道電力ネットワーク(株)においてもカイゼンなどにより、設備保守の作業効率化・費用低減に取り組んでいます。

パンザーマスト劣化損傷対応のカイゼン

- 送電線支持物であるパンザーマスト※1の損傷箇所において、損傷部の材料を取り替えずに補強用当板をリベット接合※2する工法に変更したことで、無停電での復旧作業が可能になるとともに、**1基あたり約200万円の費用低減**を実現しました。

※1 パンザーマスト：円筒型の鋼板を組み立てた支持物

※2 リベット接合：金属製の締結部品（リベット）を用いた接合方法



送電線着雪検知装置の汎用品活用による費用低減

- 自社研究により、着雪検知装置※のデータ伝送・蓄積部について汎用品を活用した仕組みを開発し、保守性の向上と**年間約1,700万円の更新費用低減**を実現しました。

【データ伝送】

公衆通信 (SIMカード) 汎用小型PC

自営通信